

『道そのものが、わたしのアートになる』

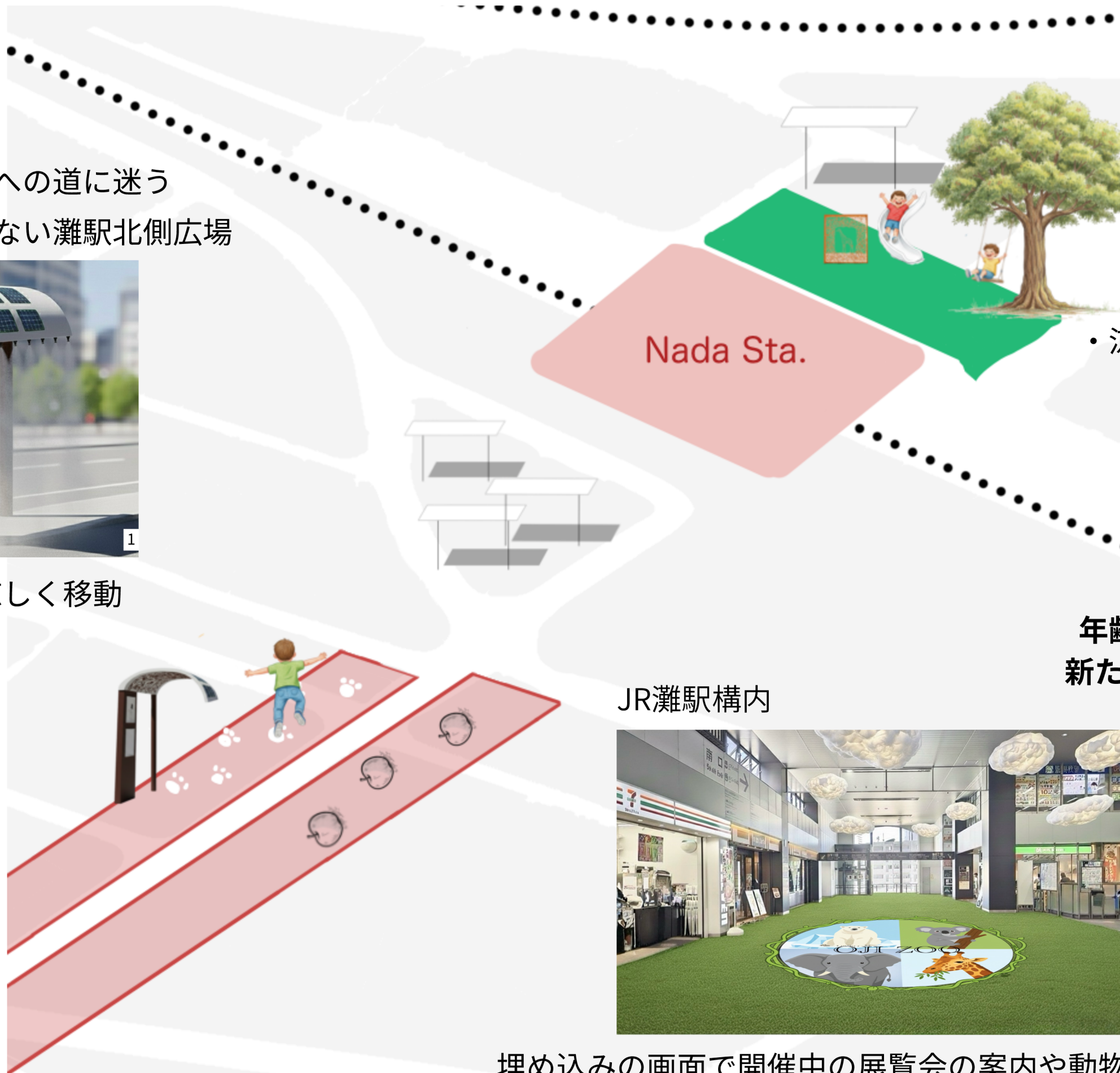
ミュージアムロードは誰もが体験し、表現できる場所へ

現状

- ・坂道で夏は暑い
- ・動物園、美術館への道に迷う
- ・あまり利用されない灘駅北側広場



日陰とミストで涼しく移動



理想

- ・道そのものがアート
- ・涼しくて坂道も楽しく歩ける
- ・誰もが表現できる場所

年齢性別問わず全ての人が
新たなアート体験ができる道へ

JR灘駅構内



埋め込みの画面で開催中の展覧会の案内や動物園への案内を表示

酷暑の坂道でも快適な日よけ



4

日影とミストにより酷暑でも快適に歩ける道へ。柱をギャラリーにみたくて、地域の子ども達や学生が描いた絵やミュージアムロード周辺で開催中のイベントのお知らせなどを掲示。

アナログだからこそいい、風景印とポストミュージアムロードに来た記憶を残そう。



8



9



10

ソーラーパネル



5



6



7

ライトアップにより際立つ装飾は兵庫県立美術館の象徴でもある青いリンゴや敏馬神社、近隣の地元企業、洋食の名店などの隠れた名所スポットも紹介。地域の活性化だけでなく防犯や歩行の安全性を高める。



体験・発見 (快適に歩く)

こどもも楽しく歩き出す道標

動物の足跡は実物サイズ！
大人も子どもも自然と目的地へ

記憶 (持ち帰る)

参加 (表現する)



11

動物園方向



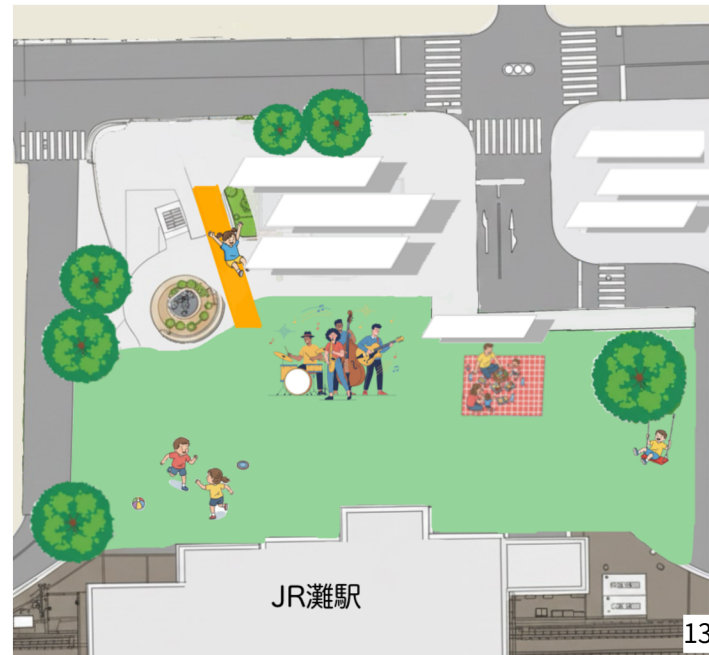
12

県立美術館方向

動物園に近づくほど大きな動物に

創造が生まれる“ミュージアムロードの拠点”

通過していく道から自然と人が集い、表現が生まれる『屋外ミュージアム』へ



JR灘駅構内・・・地面に埋められた画面と天井装飾により案内図・地元企業の広告・舞台へと様変わりする



目的地への方向も分かりやすい

AR技術が進化した未来では飛び出す動物が名物に？



地面にある画面を利用してジャズステージに早変わり

アート×動物×遊具で人が集まる場所へ



景観改善としてフォトスポットになるアートを設置。



坂を利用したすべり台やアートが融合した遊具を設置。遊びの中で自然とアートに触れるキッカケになる。



大きな木の下でブランコ。芝生ではリラックスしながらアートを鑑賞。